(様式①)

事業計画書目次(下水道事業会計)

[下水道河川局] (単位:千円)

計画書頁	款	項		事 業 名	令和7年度	令和6年度	増△減 (7-6)	新規•
					総額	総額	総額	拡充
	1			下水道事業収益的収入				
	1	1		営業収益				
1	1	1	1	下水道使用料	60,445,890	59,899,427	546,463	

令和 7年度 事業計画書

事業局課	下水道河川 局			経理 課		新規拡充		□ 新規	□ 拡充	事業評価書番号	1
歳出予算科目	下水道事業会計収益的収入	1	款	1	項	1	田	政策番号		施策番号	
事業名称	下水道使用料										

(単位:千円)

_							(半位・1口)
					財源内部	尺	
	区 分	金 額	玉	県	その他	企業債	下水道使用料等
	令和7年度	60, 445, 890					60, 445, 890
	補助事業						0
	単独事業						0
	令和6年度	59, 899, 427					59, 899, 427
	増△減	546, 463	0	0	0	0	546, 463

	支出	令和4年度	令和5年度
予	事業費	61, 138, 122	60, 074, 020
算	企業債+下水道使用料等		
決	事業費	58, 721, 227	59, 023, 071
質	企業債 + 下水道使用料等		

令和8年度	令和9年度	令和10年度
60, 445, 890	60, 445, 890	60, 445, 890

_				•								
	事業概要 (アクティビティ)			下水道条例等に基	らづいて、下水道事	業の根幹となる下か	k道使用料を公共下水道	道の使用者へ賦課	し、徴収する。			
事業指標① (アウトプット)			年度	年度 4年度		6年度	7年度	8年度	9年度	10年度		
	排出量	単位	目標	378, 696	378, 171	376, 011	377, 904	377, 904	377, 904	377, 904		
	炸山里	千㎡	実績	375, 722	373, 841							
	事業指標② (アウトカム)		年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度		
	使用料収入(税込)	単位	目標	61, 138, 122	60, 074, 020	59, 899, 427	60, 445, 890	60, 445, 890	60, 445, 890	60, 445, 890		
	使用科収入 (枕込)	千円	実績	58, 721, 227	59, 023, 071							
	事業目的		・公共下水道使用者への周知徹底、定期的な調査等により、公平かつ適正な賦課徴収を行う。 ・将来にわたり安定的に下水道サービスを提供していくため、適正に下水道使用料を徴収し、持続可能な財政運営を目指す。									
	背景・課題			小口の排出量区分 (0~50㎡) では、コロナ禍の巣ごもり等の影響により令和2年度に排出量がいったん急増した後、徐々に排出量が減少し使用料収入も減少してきたが、令和6年度にはコロナ前の水準にほぼ戻ると考えられ、令和7年度は世帯数増による延調定件数の増加により排出量及び使用料収入は増加に転じる見込み。中ロ・大口 (51㎡~) の排出量区分ではコロナ後、緩やかに排出量及び使用料収入が回復してきているが、コロナ前の水準までは戻っておらず、今後もこの傾向が継続する見込み。								
	根拠法令・方針決裁等		下水道法第20条、横浜市下水道条例第18条、横浜市下水道条例施行規則第22条、第23条									
	根拠・データ等			過年度実績値(延調定件数・排出量・使用料収入の推移等)、政策経営局作成による世帯数と人口統計								
	事業スケジュール			使用料徵収-通年								
	事業開始年度		昭和26年度									
_												

(単位:千円)

		to the sills to set	- /		V = 1 (1)() ()	(単位:十円)
		細事業名称	7年度	6年度	差引(増減)	増減説明
	1	下水道使用料収入	60, 445, 890	59, 899, 427	546, 463	総排出量の増による
	2				0	
	3				0	
	4				0	
細事業	(5)				0	
(事業内訳)	6				0	
	7				0	
	8				0	
	9				0	
	10				0	
		細事業合計	60, 445, 890	59, 899, 427	546, 463	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しまし	課長		係長		下水道使用	料担当
\mathcal{E}_{\circ}	対	松 利官		箕輪 雄吉	茂木	満里奈